

しでがの通信
第 72 号
羽津小 P・T・A
編集発行
発行所 羽津小学校

として保存して下さい

自然の中で	1
ふだん着のお父さん	4
大盛況！小中合同バザー	5
専門部活動	6
「志氏が野」の由来	7
体育館の建設	8
羽津北小学校の分離新設と通学路について	9

今年は大候に恵まれず、第一班は、九月八、九、十日。第二班は、台風の影響のため、十月二十三、二十四、二十五日に実施されました。前半と後半では季節のずれもありましたが、それぞれに楽しい思い出を作って帰ってまいりました。

市内水沢町にあります「四日市市青少年野外活動センター」に於き、大気汚染地域の小学校の第六学年児童全員を対象として、毎年実施され、目的としては、(1) 縁が多く、空気が美しい環境で、健康の増進を図る。(2) 教室で学習したことを、自然の中で観察し調査する。(3) みんなが、協力し楽しく規律ある集団生活をする。

以上をきっかけ、自然観察、ハイキング、キャンプファイヤーを通して学んでまいります。尚、経費については、国、県、市に依る公費負担となっております。

グリーン スクール

六の一 前田 和豊

消燈時間のこと 一日目
ぼくたちの寝る所は、大広間で一組、二組、三組の男子約五十人で寝ました。

ふとんをならべて敷くと、一枚のふとんに一人が、寝れないので詰めて寝た。

先生たちが、電気を、消して、もう寝なさいといったが、大体の子がやかましかった。でも時間が経つにつれて寝ていく子が多くなってきた。でもやかましい子もいたので、先生が怒って何回もきた。

「三組の子がいちばんやかましかった。」 ぼくの近くには、堀川君と小川君と中森君が、寝ていた。

中森君と、笑いながら遊んでいたら、二十三日になってしまったので、静かにしていたら、小川君と中森君がいつのまにか寝てしまった。ぼくも、寝ようと思っていたら、洋文君と、平田君が、急に笑いだしたので、寝れなかった。

それからしばらくして、時計を見ると二十四時になっていたのでぼくは、静かにして寝ていった。四時頃目がさめ起床の時まで起きていた。もうすこし寝たかったが、とても楽しかった。

二日目の消燈時間が楽しみだ。



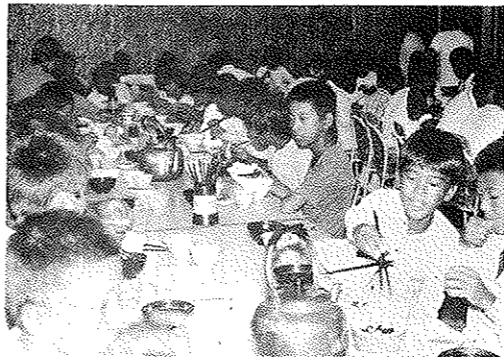
(小休止 つかれたなあ)

わが おいしい

六年二組 山本 りか

緑の学校は、どこの窓から見ても緑ばかり。緑の学校に来る道もコンクリートの道は少なく、でこぼこしたじり道が多い。窓をあけると、とってもおいしい空気と、つめたい風が入ってくる。水もとってもつめたくて、その水で顔を洗うと、とっても気持ちがいい。

外に出るたびに、次々においしい空気が口の中に入って来る。山に登っても、おいしい空気がすえる。少しづつ歩いて行くと、



(君のちようだい)

少しづつちがうおいしい空気がすえる。こんなおいしい空気は、ここでしかすえないんでしょつぱりさみしい。でも緑の学校にいる時に、おもしろい家のおみんなにすわして、あげたいな。

こんな空気を一カ月もすつていたら、体の弱い子なんて、強くなるのではないかな。私も強くなって、いじめている子がいたら、しかってやるのに。でも、私にはわからないけど強く、みんなも強くなっていると思う。

でも本当においしい空気をむねいっばいすうと、とってもいい感じ。本当は山のほりはいいやだつたけどこんなおいしい空気をすつたらいっべんで好きになつてしまった。

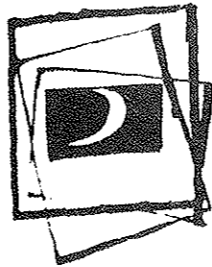
緑の学校にきてよかつた。

キャンプファイヤー

六年三組 駒野 加奈

九月九日午後七時三〇分、キャンプファイヤーをするため、青少年センターを出て広場に行つた。行く時に、電氣をつけられなかつたので、すこしこわかつた。そして、みんなで歌を歌つて火をつけると、急に明るくなり、昼間になつたようだった。そして、火が小さくなると、男の子が、木を入れ燃やす。そして、みんなが

歌を歌つた。一組、二組、三組、男女わかれて、二曲一三曲ぐらい歌つたり、合奏したりし、ガヤガヤさわいだ。わたしたちは、「青い珊瑚礁」と「哀愁でいと」を歌つた。それから、全員でジェンカをおどつた。丸山先生と藤井先生が歌つた。とても、おもしろく楽しかつた。わたしは、キャンプファイヤーは、初めてだったので、楽しみにしていたけれど、あんなに楽しいのなら、またやりたいと思います。でも、キャンプファイヤーは、キャンプの時すると思つてはいたけれど、こんな時でもできるとは、知らなかつた。キャンプファイヤーが終わり、ほたるの光のハミングをしながら、青少年センターに帰つた。でも、今思えば、木をひろつたり、つんだりしてくれた、学習係の人に、かんしゃしなければ、いけないと思つた。そのおかげで、わたしたちは、楽しいキャンプファイヤーをすごすことが、できたからです。



雲母 高原へ
六年四組 河瀬健一郎
僕の一番心に残つた事は、ハイキングの事です。
長い道をどんどん登つて行きました。そこは、空気がおいしく、とても気持ちがいい所です。
一番初めに会つたのは、木に止まつている小鳥でした。「ピューピュー、ピュルピュル」と、とてもきれいな声でさえずつていました。そこには、木の名札がついていました。スギ、ヒノキ、ヒイラギ、等、沢山の木の種類です。名前を知つていても、どんな木か知らなかつたものもあつたので、見たり、さわつたりしました。それから木がじゅうたんは、どこまでも続いていきます。
次に出会つたのは、あまり長くは話したくありません。それは、モグラの死体でした。しかしどうして死んでいたのでしよう。モグラはうつぶせになって、まるで苦しい所からのがれてきたようでした。僕は思わず、目をそむけました。頂上までもう少し、もう少しだと急ぎました。
すると、休憩場が、見えてきて、思わず皆は、「やつたあ。」と、一声あげ、飛び上がりました。

緑の学校

六年五組 野呂 健一

頂上から見た景色、弁当のおいしさは、今でも忘れられません。

緑の学校へ出かける朝、何となく緊張感がわき、それとともに喜びを背負いセンターへと向つていった。センターへ着くと五・五組ほどの東海自然歩道をキララまで歩いていった。目的地は以外に遠く今までこんなに歩いたことはないと思つた。足が棒の様になり目はかすみ、さらに腹はすいて一歩一歩進める足が一層重く感じた。目的地へ着いた時はすばらしい快感がわいてきた。センターへ帰り夕食も空気がきれいなためか、とてもおいしかつた。夕食がすみキャンプファイヤーとなつた。十月ともなり少し寒かつたが皆計画した演技を次々に繰り広げ最高に盛り上つた。その後、消燈となつたがまだ起きていたかつた。センターの朝はとも目覚めがさわやかだつた。二日目も色々な作業をしているうちに過ぎていった。そして最後の夜となつたがこの夜はかなりつかれていたのでよく眠れた。センターでの二回目の朝になつたが雨だつたのであまり気分は優れなかつた。

この三日間学校では学べないことを美しい自然の中で学べたことをばくの一生の思い出に残せると信じている。

緑の学校を終つての

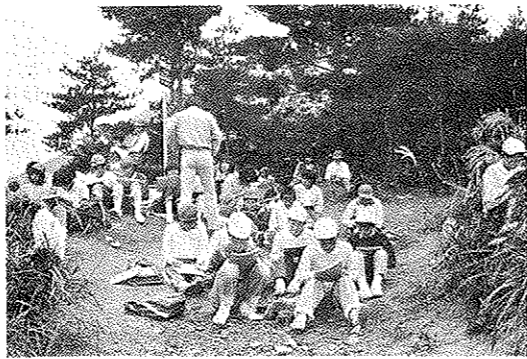
雑感

平田 清則

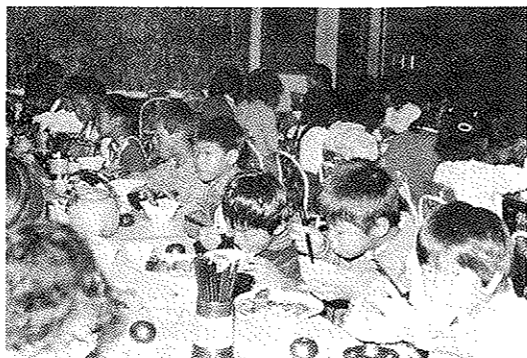
本年度の緑の学校は、天候の都合で例年にならぬ変則的なものであつた。前半、後半と時期は、ずれたが経験した申味は余り変りないので思いつく儘に述べてみたい。総てに、厳しい規則の中の生活で、家庭での生活との違いに子供達は戸惑いを感じていた。

寝具のたたみ方、置き方は、そろつていないとやり直し。食事後の食器の返し方、残飯の捨て方等はきまり通りに、落したご飯つぶの除去。各部署での掃除は、少しでもゴミが残つてもやり直し。等学校、家庭でも余りやらされてない事をやらされたが、皆真剣にやれた。

厳しさの中にも楽しさがあり子供達は貴重な体験をしたようで、今後に生かして欲しい。



(よく三重県一展望はいか)



(ボリュームたっぷりね)



(キララ高原へ)



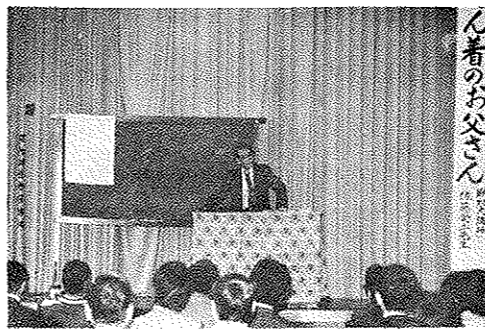
(たのしいキャンプファイヤー)

ふだん着のお父さん

(両親学級)

講演を聞いて

去る十一月十六日(日曜日)、授業参観の後、講堂で、六年生のトランペット鼓隊演奏、その後、佐藤栄二先生をお迎えし、「ふだん着のお父さん」と題して、豊富に子供の作文を折り込んだ、貴重な御講演を拜聴し、大変考えさせられました。引き続き、山本先生の御指導で、PTAコーラス部員の皆様に美声を聞かせていただきました。



（お父さん………）

別名町 文化部員
いつまでたっても、親は自分の子供を小さな幼児にしか思っていないものである。自分が言うことは、何でも聞き入れてくれるし、何でもしてくれるものと思っている。またそうさせることが出来るという自信みたいなものを持っている。こんな安易な親の考えは、通用しない。子供の成長は、背が伸び、体重が増えること以上に感情面、精神面の発育にはスピードがあるものだ。あらためて感じた次第です。

一日のうちで、ほんの少しの時間しか交わる機会がない日常生活の中で、いかに心のふれ合う会話が出来るか。父親としての頼もしさ、母親としての優しさを、最大限にあらわすことを真剣に考えなければならぬ。ちよつとした会話の端に、またちよつとした立居振る舞いに、こんな要素をいかに加えていくか、親の最も重要な課題である。講師の永年に亘る、

教員生活から得られた色々な心につれる話は、もつともつと多くの人々に聞かせて欲しいと、卒直に感じた。

佐藤先生の講演より

講演より

○親も知らず知らず子供に安易に差をつけている。
○家はあっても、家庭がない。家庭とは、父親性、母親性がうまく、かみ合って存在しているものである。

○高学年(四、五、六年)になると、子供は本音を出さなくなる。——どのように云えば誉められるか、どのようにすれば、怒られるか、心得てくるから。

○中学生になると、精神的、学力的に差がつき、ともすれば、非行に走り易い。この時に普段からの責任ある、父親の人生観、後姿が子供に必要なのである。

これにより、子供は自分で自分の人生を切り開いて、成長していくのである。大きくなってから、叱っていても反抗するばかりである。

鼓隊演奏を聴いて

谷口 勝巳

十一月十六日両親学級に参加し授業参観のあと講堂において、子供達の音楽発表を聴きました。

内容は、トランペット鼓隊演奏で曲目は「そららん節」と「線路は続くよどこまでも」でしたが、日頃の先生方の御指導の成果と子供達の勉強の成果を拜見し、市の大会では、その成果を百パーセント発揮し頑張っていたかと思われ、心から拍手を送りたいと思えます。

ところでこの発表会が開催された講堂ですが、あとしばらくでこの講堂がなくなるかと思うと、何となく名残り惜しい気がします。私が羽津小学校に通っていた頃は(昭和二十年代)この講堂で学芸会なるものが開かれ、講堂が満員になるくらい御父兄が参観されたものです。今はそういった催しはありませんが、トランペット鼓隊演奏を聴いていて、私共の年代層の小学生時代がたいへんになつかしく思い出されました。

来年には体育館が完成し羽津小学校も他校に負けない立派な設備が整います。その体育館に負けないようなすばらしい演奏を今後もあることに聴かせていただければ、心から楽しんで聞いて下さいます。頑張ってください。



（おとなしくまってるね）



（奥様もにっこり）

小・中 合同バザー

福祉保健副部長

鈴木 節子

十一月二十五日(火曜日)に、恒例のバザーが開催されました。心配されましたお天気も朝方から回復し、多勢の方々に御来場戴きました。会場の各売場は大変な困難で、思う様に品物を手にすることが出来なかつた方もいらっしゃる程の盛況ぶりでした。

バザー開催に当たりまして特志賛助者の皆様、PTA会員の皆様には沢山の品物を寄贈戴きましたことを、厚く御礼申し上げます。また品物の回収、搬入をお世話下さいました各町代表、町委員の皆様方も御苦勞様でございました。

本年は初の試みと致しまして小・中合同でのバザーとなりました。先生始め役員の皆様方には小・中で協力しあって順調に準備を進めて戴きまして、有難うございました。お蔭様でそれなりの成果を収めることが出来ましたことは、意義深いことと存じます。

当日の収益金は羽津小・中学校発展の為に有意義に利用させて頂きます。皆様の御協力を重ねて御礼申し上げます。

大 盛 況

＝ 小・中合同バザー ＝

小・中 合同バザー

別名二 黒田 佳子

朝方の雨もあがり昼からの時間には、日も照り皆さんの足どりも好調のように思われました。

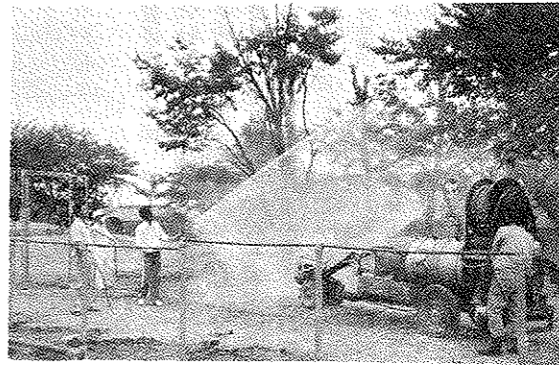
小中合同のバザーに多くの善意と共に、羽津地区の地域ぐるみの善意を感じました。役員さん方の奉仕に支えられ学校へよせる熱意を感じ出品して頂いた企業の方にも個人の皆様にも、年中行事の一つになつてバザーを意義あるよう盛りたてて、頂いているの

だと思えました。経済情勢の悪い昨今押入れの片すみにねむっている品物が、他の家庭で又役立つのかと思うとうれしく思います。

講堂の中での買物は、とても混雑していて計算の所では、長い列をつくって待っている状態でした。出来るだけ品物を運動場へ出していただけたらと思いましたが、その方が広いスペースがとれるのではないかと思っています。

子供の幸せを願う親の気持の、あらわれだと信じて帰って来ました。

専門部だより



(ケムシもビクリ)

校庭樹木の殺虫消毒

環境整備部

九月七日(日曜)午前七時より校庭樹木の殺虫消毒作業を行いました。

当日は、羽津農協から動力噴霧機をお借りして名木の松、桜、楓などに消毒液を噴射し、午前中いっぱい作業を終わりましたが、桜の葉につく大きな毛虫の発生が

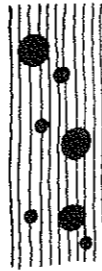
目立ちました。

当日、早朝より作業にご協力いただいた本部役員、部員、先生方ならびに消毒機械をお貸しくださった羽津農協のご厚意に厚くお礼申し上げます。

総合試食会を終えて

福祉保健部 長島 純子

過日 生憎の台風接近で雨、風の激しい中にもかかわらず、給食試食会に多くお集り頂き有難うございました。市の教育課からお招き致しました渡瀬先生のお話の中に平素私達の気付いていない給食に関する除の御苦勞話を知りました。又、親の負担する材料費以外に一人当り年間一万七千六百円もの雑費、備品の費用が市に負担されている事等を、知りました。一年生の食事の様子が微笑ましく、給食の意義の本当の大きな事を、改めて思いました。



あなたも参加 なさいませんか?

安藤多恵子

P.T.A.コーラス部を六月に発足いたしました。

毎月第二、第四、金曜日に三Fの音楽教室におきまして、山本文先生、大市先生のユニークな御指導のもとにけいこに励んでおります。現在部員は二十余名です。

この方達の中には、学生時代又は職場において、コーラス経験の豊富な方もいらっしゃいますし、又全く人前で歌った事のない方もいらっしゃると思います。しかし部員の皆様方に共通していえる事は「歌が好きである」という事です。

十一月十六日、両親学級の講演の後「この道」おかあさんほらおかあさん」の二曲を発表させていただきました。発足してからまだ四ヶ月たらずでの発表会でしたが、その堂々とした歌い方はとても初舞台とは思えないほどの出来ばえ

だったと思います。オンチな人でもかまいません。歌を歌うのが好きな人。毎月第二、第四金曜日の二時三十分～三時三十分までの音楽教室をのぞいて下さい。そして「あなたも参加なさいませんか?」皆様のおこしを部員一同お待ちしております。

運動会によせて

文化部員

去る十月五日秋晴れの晴天にめぐまれ、運動会が開催されました。

この辺りには、万葉の時代から豊かな歴史が秘められていたのかとこの地に住む喜びを感じました。

最後に、題字「しで」の文字を囲み飾っている図柄は、志氏神社にある古墳から発掘された土器の破片であることを付け加えていただきます。

(森悦郎先生の資料に依る)

志氏が野の由来

「おくれにし 人をしのばん 四泥の崎 木綿とりしでて さきとぞ思う」
七四〇年、聖武天皇が藤原広嗣の乱を避けて伊勢地方へ潜幸の際の付人、伊比屋真人の歌で万葉集の収歌である。
この中の「四泥の崎」とは今の志氏神社の辺りであり、「木綿とりしでて」の「しで」は「四泥」(岬の先端で周辺が沼地の意)と「幣」とのかかり言葉であり、志氏神社の主神「伊吹戸主神」が「お被い」の神であることから、みそぎに使う「御幣」の意味を含んでいる。
又、最近の研究の進展では銅

野」と呼称していたようである。以上、森先生の御説明を讀ませていただき、当新聞の題字「しで」が好きで、常々その由来、意味を知りたいと思っておりましたのでとてもうれしく、やはりこの言葉

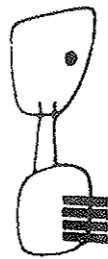


交通安全教室

安全部 奥岡 辰男

六月に雨天中止になってたのを十月十六日(二限目一、二年。三限目三、四年。四限目五、六年)に実施致しました。

北警察署より警察官二名、婦警二名の各々にお世話頂き、一年～四年迄は二コースに別れて信号機の見方、横断歩道の渡り方を実際に路上に出て実施し、五、六年は校庭に書いたコースで自転車の乗り方を教えて頂きました。事故の多い昨今、少しでもお子達の安全に役立つ事を願っております。



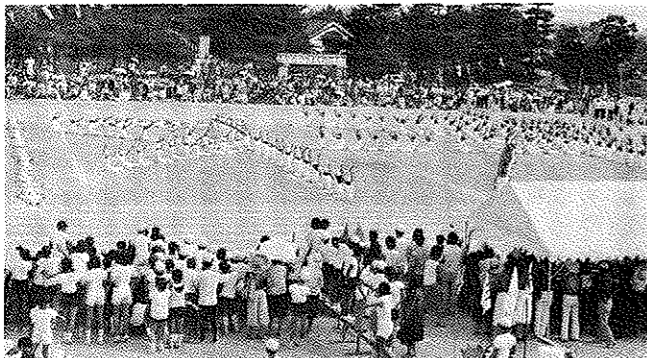
お詫び

文化部

焼き窯の移転が大巾におくれましたので、陶芸教室の作品の完成がおくれています。この場をおかりしまして参加者の皆様にお詫び申し上げます。

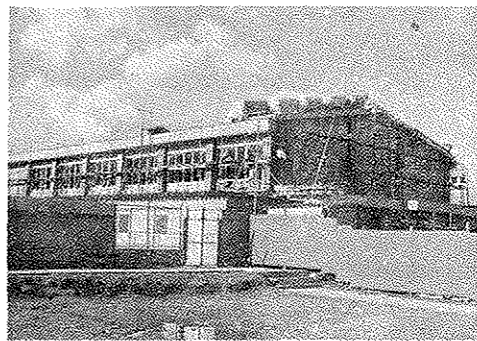
競技種目は、去年とあまり変わってはいませんが、徒競走において数年ぶりにセパレートコースが取られ、子供達はとどいてながらも一生懸命自分のコースを走っている姿は微笑ましい気がしました。又マンモス校の良い面でも六年生の組体操はとて華やかで美しいものでした。

ただ残念に思った事は、羽津小学校には運動会の華とも云うべき対抗リレーがないことです。これなどはマンモス校の悩みかも。



(六年組立体操)

体育館の建設



(完成間近の体育館)

体育館の建設

この夏のプールの完成に引きつづき、去る七月十七日より体育館の建設が進められています。写真でご覧いただけるように、現在外壁及び鉄骨の組立て工事もほぼ完了し、来春二月中には落成する予定です。

次に新体育館の構造及び内部設備についてその概略を紹介いたします。

構造

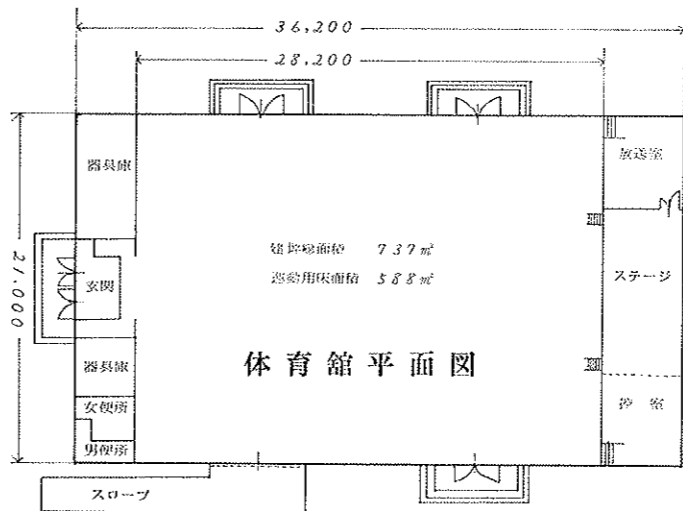
- 鉄骨平屋建
- 建坪総面積 七三七平方メートル
- 運動床面積 五八八平方メートル
- 体育用設備
 - 一 バレーコート
 - 二 ミニバスケット
 - 三 パドミントン
- ※右の三種目が同時に使用できるといえるのではなく、バレーに使用すれば他のバスケットやパドミントンはできません。
- 低鉄棒
- 助木
- 防球ネット
- (両側面及びステージ側)
 - ☒ 舞台(ステージ)
 - ・ 演壇、花台
 - ・ ピアノ(アップライト)
 - ・ 館内放送設備一式
 - ・ 映写幕(スクリーン)
 - ・ 国旗、校旗吊下棒
 - ・ その他綴張、背面幕、袖幕、一文字幕(中央に校章入り)等がつきます。
 - ☒ その他
 - ・ 大時計
 - ・ 暗幕装置(全館内)
 - ・ 床マット(全床面)

- ・ 長机、椅子類
- ・ 器具庫
- (跳箱、マット、ボール等運動用具収納)
- ・ 便所
- (男、女別に屋内、屋外の両方から使用できます。)
- ・ 校舎本館からの渡り廊下
- ・ なお、西側に心身障害者用(スロープ)出入口が設けられます。

以上が市教育委員会から市費でやっていただけの設備関係の概略です。

プール、体育館の完備は、今後の本校教育に重要な役割を担い、整備された両施設が教育環境の上で新たな戦力となつて、児童体育の向上は申すに及ばず、広く地域スポーツの進展に役立つものと確信します。またそのように十分活用されなければならぬと思えます。

プール、体育館の建設は単にPTAのみならず、地区民多年の念願で



あり、その実現にご努力、ご尽力いただいた地区連合自治会、地区選出市会議員の方々をはじめ地元関係者各位、ならびにPTA会員の皆さまに厚くお礼を申しあげます。(学校長)

PTA役員の方々をはじめ会員の皆さまには、体育館内部設備の充足、及び周辺の整備等について格別お世話になることと存じますが、何卒よろしくご援助、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

現在の羽津小学校は、児童数一四二〇人、学級数三四クラスを擁し、尾鷲小学校に次ぐ県下二番目の大規模校であります。今後なお児童数の増加が見込まれているところから、現在の校地を拡張増設することは至難な状況にあります。

ご承知のように、地区内にもう一校、小学校を新設することは地区としてここ数年来の重要な懸案事項として、その実現に関係者の皆様のご努力が続けられて参りました。

一、学校建設と開校

昭五四―五六までの三カ年計画で用地買収、造成、校舎建築を完了し、昭和五七年四月開校の予定です。

二、学校敷地・学校規模

・ 位置 大字羽津字御田
米洗川北堤防沿い(宮尾陶

四、校区

・ 新設羽津北小学校区
霞ヶ浦全町、白須賀全町、八田全町、羽津中二、三丁目、別名三、四、五、六丁目、鵜町、南いかるが町

但し、プールは開校年度七月完成予定

羽津北小学校の分離新設と通学路について

- ・ 器工場北方
- ・ 敷地 六六六七坪(現羽津小は六〇三三坪)
- ・ 開校時の児童数 羽津北小六三三人一八学級 羽津小八八九人二三学級
- ※市教委推定による
- 三、校舎建物等
 - ・ 普通教室、特別教室、給食調理室、体育館、プール、固定遊具施設等

五、通学路について

羽津北小の建設については、すでに地区関係役職者の方々で建設委員会が結成され、種々ご尽力をいただいております。(構成は、連合自治会正副会長・地元市会議員・北小学校区関係各町自治会長・小中PTA会長並びに小中学校長の各氏)

通学路の選定と安全対策の要望

については、建設委員会から依頼を受けて現羽津小PTAがとりまとめることになりました。

PTAでは早速常任委員会の協議を経て、関係各町代表、町委員さんの手をわずらわして、自治会長さんをはじめ、町関係者の皆さんにご相談願ってそれぞれの町の案をまとめていただきました。

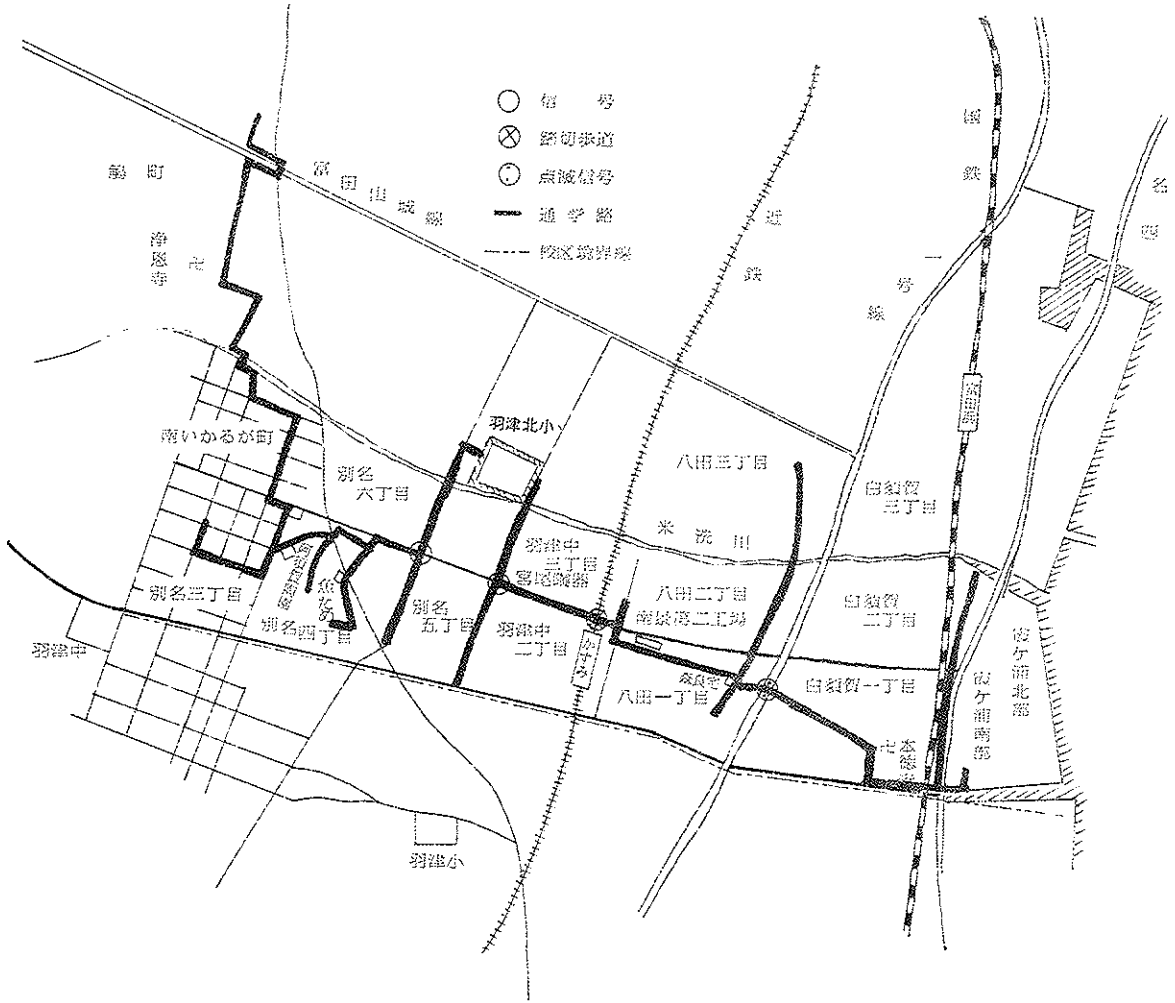
次いで、去る九月二十五日開かれた建設委員会(市教育委員会な

ど市関係行政当事者も参席)でPTAがとりまとめた通学路と安全対策の要望事項が検討協議された結果、別図のように通学路が内定されるに至ったわけです。なお、この間、町選定の通学路と大きなへだたりのある町については、町代表者の方々や市行政当事者が現地調査を行うなどのお骨折りをいただきました。

1. 安全確保を第一に考え、交通量の多い幹線道路や、人からはなれたきびしい道、また、米洗川堤防上の道などをさけること。
2. 安全対策については、当面予算的な問題もあるが、信号機、標識、標示、ガードレール、時間規制及び道路の改修などをふくめて、なお継続して市に接話し、地元の要望にこたえるよう努力する。

以上新設羽津北小学校の建設と通学路について現在までの経過を申し述べましたが、会員の皆さまには、この間の事情をご理解くださいますとともに、今後なおこのことについて、いっそうのご援助ご協力を賜りますようお願い申し上げます。(学校長)

羽津北小通学路



常任委員会だより

第5回常任委員会 九月十二日

・第二学期専門部活動計画について

・新設羽津北小学校通学路について

・夏休みのプール利用の反省について

・体育館の建設について

・保険団体よりの備品等の購入について

第6回常任委員会 十月 八日

・羽津北小学校通学路について

・十、十一月専門部活動計画について

小中合同常任委員会十一月十一日

・バザー実施について

で
す
く
さ
い
ど

第七十二号をお届けいたします。コタツを囲んで、御家族の皆様で、御覧ください。

年の瀬を迎えて、お忙しい毎日と思えます。健康に注意し、良いお正月をお迎え下さい。